

Title	三田國文総目次 (創刊号-第五十号)
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	2009
Jtitle	三田國文 No.50 (2009. 12) ,p.79- 90
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20091200-0079

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田國文 総目次 (創刊号—第五十号)

創刊号

西行の四国下向

—大師遺跡巡礼歌群について—

うつほ物語の絵解 小論

釈蓮禪と藤原周光の紀行唱和詩の成立時期について

『拾遺風躰和歌集』統群書類従活字本の成立経過

三条西実隆筆古今集聞書について
—古今伝授以前の実隆—

下北の能舞にみられる三番叟
河回別神クッノリ台詞(金宅圭・成炳禧本)

『宗安小歌集』総索引

第二号

青きまで白し

—永仁七年書写源氏物語抄序説—

能因の末裔

藤原雅經年譜

原本『兩度聞書』から板本『兩度聞書』へ

『羽衣』形成考

宝徳元年本『僻案抄』翻刻

第三号

徳良における「土」の意識

玉葉和歌集恋歌の表現

近代戯曲史上の尾崎紅葉

紀行文の時代(一) — 田山花袋と柳田国男 —

頭昭略年譜

「日本釋名」森立之書き入れ本について
—附「言元梯」「和訓六帖」—

第四号

芸能神河勝—その侏儒的要素—

『保元物語』形成の一側面

—多近久と仁和寺—

「延慶本」における天変地異と歴史的事件の
連関性—辻風と大地震をめぐって—

鏡花初期作品の執筆時期について

—『白鬼女物語』を中心に—

『風流線』の一考察

—巨山五太夫のモデルについて

社会史と日常—網野善彦の近業をめぐるテキ

スト論・ノート—

石川 透

岩崎 良子

山根 秋乃

河路 由佳

藤田 叙子

川上 新一郎

関場 武

三村 昌義

須藤 敬

久松 宏二

松村 友視

秋山 稔

岩松 研吉郎

川村 晃生

武藤 康史

石神 秀美

三村 昌義

池田 利夫

川村 晃生

武藤 康史

石神 秀美

三村 昌義

中川 博夫

石神 秀美

神田 より子

野村 伸一

菅野 扶美

実践女子大学図書館常盤松文庫蔵奈良絵本
「おちくほ」 翻刻

石川 透

第七号

天皇霊の考察 その一
—折口名彙研究を主軸として—
市古貞次氏蔵奈良絵本「おちくほ」 翻刻
校本「能因歌枕」

津田 博幸
石川 透
能因歌枕研究会編

「出雲健が佩ける大刀」小論
「山家集」錯簡説をめぐって
言葉の槍—ヤミ族の言語観—
「中納言兼輔集」私注(二)
母と子の間—「義経記」ノート・1
「博物筌」その二

野津 將史
寺澤 行忠
皆川 隆一
田中 直
岩松 研吉郎
関場 武

第六号

天皇霊の考察 その二
—記紀・統紀をめぐって—
「発心集」にみる聖の二類型
—蓮花城と心戒—
昔話の叙述の展開とその構造
—異類女房譚を例として—
「海やまのあひだ」論—「さびしさ」「かそけ
さ」「ひそけさ」の生成について—
「能因歌枕」要語略索引
「新和歌集」成立時期小考
「博物筌」その一

津田 博幸
山田 昭全
川添 裕希
持田 叙子
能因歌枕研究会編
中川 博夫
関場 武

第八号

折口信夫におけるライフ・インデックスの考
察 その一
昔話に見られる想像力
—客人歓待伝説から隣の爺型の昔話へ—
「八十島かけて」考
廣津和郎と「洪水以後」
天皇系譜と古事記の構造—潜在する叙事詩—
天理大学附属天理図書館蔵「落窪物語抄」解
題・翻刻
漱石文庫のメレディス
—その基礎事項に関する覚書—

星野 直彦
川添 裕希
川村 晃生
坂本 育雄
田島 けい子
石川 透
飛ヶ谷美穂子

第九号

万葉羈旅歌論

雅平本業平集の編纂態度―その詞書の生成過程と典故資料についての考察―

新和歌集撰者考―西円法師をめぐって―

『中納言兼輔集』私注 (三)

天理大学附属天理図書館蔵『ふくろうのさうし』
・ 解題・ 翻刻

梶 裕史

田口 尚之

小林 一彦

田中 直

石川 透

祇注の六義論その他 (上)

―詩篇解釈法の受容について―

「口ぶえ」試論

『中納言兼輔集』私注 (四)

天理大学附属天理図書館蔵『よひの雨』
・ 立
・ 聞
・ 翻刻

石神 秀晃

持田 叙子

田中 直

石川 透

第十二号

まひはせむ―古代の略小考―

『本朝統文粹』と『本朝無題詩』

人麿影供年譜稿―鎌倉時代篇―

運定め話の系譜―因縁話の成立―

九州大学附属図書館蔵〔犬鷹合戦物語〕
・ 解題
・ 翻刻

齊藤 充博

佐藤 道生

佐々木 孝浩

川添 裕希

石川 透

第十号

日子坐王と倭建命

―古事記の原系譜を求めて―

清輔本古今集を披見した人々

―江戸後期伝来覚書―

『ふくろうのさうし』の成立

八幡の縁起類から見た『宇佐八まんのゆらい』

『玉葉集』における「心の底」

九州大学附属図書館蔵『落嘶ふし見酒』
・ 解題
・ 翻刻

田島 けい子

川上 新一郎

石川 透

小野 尚志

山根 秋乃

石川 俊一郎

第十三号

ふたりの黒媛

―「記」「紀」成立史への一視点―

「帥大伴卿歌五首」の趣向と作意

『小夜衣』の親子

『平家物語』と笛

―巻第九「敦盛最期」の形成をめぐって―

田島 けい子

胡 志昂

中島 正二

佐谷 眞木人

第十一号

異本『発心集』巻一考

山部 和喜

国立公文書館内閣文庫蔵『鳥歌合』 解題・翻刻

石川 透

第十六号

九条隆博伝の考察(二)

— 永仁勅撰撰者の生涯 —

佐々木孝浩

第十四号

天徳四年内裏歌合と初期百首の成立

九条隆博伝の考察(一)

— 永仁勅撰撰者の生涯 —

金子 英世

佐々木 孝浩

小沢 次郎

小柳 滋子

石川 透

飛ヶ谷美穂子

第十七号

五節舞の由来— 琴歌譜歌謡考 —

『太平記』卷三十九・四十成立試論

明治歳時記概観

慶應義塾図書館蔵横型本『天狗の内裏』 解題・翻刻

宮内庁書陵部蔵「金玉双義」 解題・翻刻 下

阿久沢 武史

小秋元 段

杉浦 功一

石川 透

石神 秀晃

第十五号

『太平記』観心擾乱記事の二側面

— 「雲景未来記事」を中心に —

上田敏にみる「海潮音」の語意の変容

『平家継図 并平家一部歌』 解題・翻刻

宮内庁書陵部蔵「金玉双義」 解題併翻刻 上

小秋元 段

小沢 次郎

石川 透

石神 秀晃

第十八号

皇統譜はいかに創られたか

— 天武の構想・安萬侶の試み —

祇注の六義論その他(中)

— 古今灌頂・言語的象徴表現・体用論理 —

御伽草子『小敦盛』の形成をめぐる

田島 けい子

石神 秀晃

佐谷 眞木人

『清水物語』 諸本の性格
『明解国語辞典』 論―「序」の考察―

柳沢 昌紀
武藤 康史

福井市立図書館蔵『伊勢源氏十二番女合』 翻刻
『安芸嚴島縁起』 解題・翻刻

中島 正二
石川 透

第十九号

『源順百首』 の特質と初期百首の展開
毛利家本『太平記』の本文とその世界(上)

金子 英世
小秋元 段

『歌傳所』の時代―大歌所前史の研究―
『太平記』第二部の範圍と構成

阿久沢 武史
小秋元 段

『祇園物語』の伝本
『いつく島御縁起(上)』 解題・翻刻

柳沢 昌紀
石川 透

二条良基と「揚名介」―除目の秘事、および
『源氏物語』の難義として―

小川 剛生

漱石とラファエル前派 研究文献目録

飛ヶ谷美穂子

『すゑひろ物語』 解題・翻刻

石川 透

第二十号

『永久百首』の異伝歌
毛利家本『太平記』の本文とその世界(下)

伊倉 史人
小秋元 段

第二十三号

本邦中世に於ける『詩』学の動向
『俊忠集』のある一首をめぐって

住吉 朋彦
中島 正二

二条良基の除目説(下)
―撰閑家説の伝授をめぐって―
泉鏡花の〈箱根もの〉
―旧街道と新道の物語『紅蓑』―

小川 剛生

『伊勢大神宮御縁起』 解題・翻刻

石川 透

慶應義塾図書館蔵『十二類歌合え草子』 解題
・翻刻

小柳 滋子
石川 透

第二十一号

況齋と『発心集』
二条良基の除目説(上)―光明院・洞院公賢
の批評の検討を中心に―

山部 和喜
小川 剛生

第二十四号

藤原師輔五十賀屏風に関する一考察
『俊頼髓腦』の題詠論について

山本 令子
伊倉 史人

『統群書一覽』所載の「勅撰名所和歌要抄」記事

中島 正二

『羅文居士病中一件留』解題・翻刻、上

神田 正行

『笠間長者鶴亀物語』解題・翻刻

石川 透

第二十七号

恋ふこと・思ふこと

——『万葉集』におけるその連関——

松田 浩

『永久百首』とその背景

伊倉 史人

応永の乱関係軍記について

安野 博之

即位灌頂と摂関家

小川 剛生

——二条家の「天子御灌頂」の歴史——

『うけらが花』に於ける恋題拡充の一方

山本 令子

馬琴所持の俳書について 附・『東岡舎藏書目録』翻刻

神田 正行

東洋大学哲学堂文庫蔵『孟蘭盆経私記疏』解題・翻刻——血盆経信仰の一資料として——

飯島 奈海

『はちかつき・上』解題・翻刻

石川 透

『唐糸草子』解題・翻刻

石川 透

Bertha M. Clay 作 Between Two Sins 翻訳(上)

堀 啓子

第二十八号

曾禰好忠『毎月集』の特質について(一)

金子 英世

——漁業関係の歌を中心に——

『俊頼髓脳』の題詠論の両義性

伊倉 史人

死ぬことの(意味)

五味 淵典嗣

——小林秀雄「実朝」を読む——

麻生家本『山下水』の書誌的報告

松原 志伸

慶應義塾図書館蔵『人あなさうし』解題・翻刻

石川 透

慶應義塾図書館蔵『頼朝公橋供養』解題・翻刻

石川 透

『羅文居士病中一件留』解題・翻刻、下

神田 正行

Bertha M. Clay 作 Between Two Sins 翻訳(下)

堀 啓子

——尾崎紅葉作『不言不語』の原作として——

第二十六号

大路の柳・堤の柳

『泊泊舎集』に於ける古典撰取の一側面

川村 晃生

清原家と『御成敗式目』

山本 令子

慶應義塾図書館蔵『人あなさうし』解題・翻刻

安野 博之

『羅文居士病中一件留』解題・翻刻、下

石川 透

Bertha M. Clay 作 Between Two Sins 翻訳(下)

神田 正行

——尾崎紅葉作『不言不語』の原作として——

堀 啓子

校本「定家卿自歌合」——二松学舎大学附属図書館竹清文庫蔵「廿四番哥合」翻刻付七本
校異——

小林 一彦

第二十九号

「鬼の志許草」と「鬼の腰草」
——俊頼と「本」序説——
「古今蜜勘注」の諸本とその注釈態度に関する一考察

伊倉 史人

山本 令子

御伽草子から古浄瑠璃へ

——「こあつもり」の展開とその背景——

佐谷 眞木人

【四十二の物あらそひ】二本解題・翻刻

石川 透

第三十号

鹿の古代伝承と水神と

——日本武尊の鹿狩りをめぐって——

松田 浩

古代文芸と鹿・猪の意識について

——考古学的視点を織りまぜて——

石神 裕之

「朝比奈宮の縁起」の成立

馬琴書翰年次考

徳竹 由明

神田 正行

仙台市民図書館蔵「沙石集」抜書本
翻刻・
上

上野 陽子

慶應義塾図書館蔵「きわう」解題・翻刻

石川 透

第三十一号

「平家物語」長門本と四部合戦状本の近似本文に関する一考察——平家都落ち話群中の東国武者の記事を中心に——

徳竹 由明

「帰結」からの逸脱

——「歯車」の〈論理〉をめぐって——

副田 賢二

仙台市民図書館蔵「沙石集」抜書本 翻刻・
下

上野 陽子

慶應義塾図書館蔵「はちかつぎ」解題・翻刻
忍術道歌——校本「伊勢三郎義盛忍百首」

石川 透

土井 大介

第三十二号

北朝廷臣としての「増鏡」の作者

——成立年代・作者像の再検討——

小川 剛生

「古今蜜勘注」の諸本とその注釈態度に関する一考察・補遺

山本 令子

慶長勅版の刊行について

——慶長四年刊本を中心に——

安野 博之

講談社・大正九年——「雄弁」の誌面（再）改
革と「現代」創刊——

五島 慶一

慶應義塾大学国文学研究室蔵「月日の本地」
解題・翻刻

石川 透

凌霄文庫蔵「承久物語」解題・翻刻

徳竹 由明

慶應義塾図書館蔵「泉鏡花生母すゞの書簡」
解題・翻刻(上)

西川 貴子

第三十三号

平牧盛説話の近世的展開
——「二谷嫩軍記」を中心に

佐谷 眞木人

「義経記」における畠山重忠

徳竹 由明

牧野信一「夜見の巻」論
——採集・名前・幻想——

副田 賢二

慶應義塾大学国文学研究室蔵「八幡大菩薩御縁起」解題・翻刻

石川 透

慶應義塾図書館蔵「泉鏡花生母すゞの書簡」
解題・翻刻(下)

三浦 卓

第三十四号

中世源氏学の形成

——「山下水」の性質と成立をめぐって——

松原 志伸

忍歌の来歴—道歌集「伊勢三郎義盛忍百首」
と忍術伝書「万川集海」を中心に——

土井 大介

「作者部類」の改稿過程

神田 正行

〈妻〉の「一念」

——「われから」における妻の位置——

五島 慶一

間接的発話行為の考察について—理解・表現
を中心に— スニサー・ウィッタヤーバンヤーン
を中心にして

阿岸本「砂石集」翻刻 巻一

上野 陽子

東京大学国文学研究室蔵奈良絵本「朝日奈」
解題・翻刻

徳竹 由明

慶應義塾図書館蔵「大仏供養物語」解題・翻
刻

石川 透

第三十五号

漢字と和訓と—筑紫万葉歌人の一方法—

松田 浩

阿岸本「砂石集」翻刻 巻二・巻三

上野 陽子

尊経閣文庫蔵「慈巧上人極楽往生問答」翻刻
・略解題

恋田 知子

慶應義塾図書館蔵「有善女物語」解題・翻刻

石川 透

第三十六号

富士五十句

前北 馨

阿岸本「砂石集」翻刻 巻四・巻五

上野 陽子

慶應義塾図書館蔵「釈迦の本地」解題・翻刻

石川 透

第三十七号

第四十号

間接的発話行為における、日・タイの異文化
コミュニケーション スニサー・ウィッタヤーパンヤーノン
大英博物館蔵『浦しま』解題・翻刻付図版 辻 英子
慶應義塾図書館蔵『隠れ里』解題・翻刻 石川 透

第三十八号

川端康成「たまゆら」試論 三浦 卓
— 定型化への縮図として

第四十一号

「三十人の女房」落窪の君の御前を中心に」
宮沢賢治「ポラーノの広場」 山本 令子
— 「動物のしゃべらない」賢治童話として 三浦 卓
日・タイの「謝罪」の発話行為から見た両国
の違い スニサー・ウィッタヤーパンヤーノン
慶應義塾図書館蔵『浦島太郎』解題・翻刻 石川 透

〈物語〉の鮮度

— 中上健次「愛獣」・物語内容分析 —

浅野 麗

「アグニの神」論

— 「運命の力」は誰に示されたか —

五島 慶一

新垣宏一「砂塵」論

— 「異文化を見る」という視点

和泉 司

青年が「志願」に至るまで

— 周金波「志願兵」論

和泉 司

慶應義塾図書館蔵『四十二の物語』翻刻

石川 透

オーストリア国立工芸美術館蔵『さゝれいし』
慶應義塾大学国文学研究室蔵「道成寺縁起絵
巻」解題・影印

辻 英子
石川 透

第三十九号

中島敦「文字禍」論

— 〈古譚〉を記述する方法 —

葛西 まり子

第四十二号

大英博物館蔵『伊吹とうし』解題・翻刻付図
版

辻 英子

江戸時代の公家は本当に貧乏だったのか？
— 近衛家熙を支えた経済力 —

緑川 明憲

慶應義塾図書館蔵『酒吞童子』翻刻

石川 透

明治三五年版『透谷全集』
— その「商品」性と流通ネットワーク

黒田 俊太郎

戸川秋骨年譜稿

〔道成寺物語〕 解題・影印

松村 公子
石川 透

第四十三号

赤川武助「僕の戦場日記」論
―手續スきとしての「宣撫」―

五島 慶一

日本人とタイ人の「依頼」、「勧誘」行為について―対人関係を維持するストラテジーを中心に―

スニサー・ウィッターヤーン・パンヤーン

ウィーン国立民族学博物館蔵「西行記」(春・夏) 解題・翻刻

辻 英子

〔安珍清姫一代記〕 解題・影印

石川 透

第四十四号

錯綜する「内」と「外」―四〇年代台湾文壇における「蓮霧の庭」と龍瑛宗を中心に―

和泉 司

戸川秋骨著作目録稿

松村 公子

〔改造社印税率の記録〕の概要とその意義

黒田 俊太郎

印 〔四十二の物あらしひ(縦型断簡)〕 解題・影印

石川 透

第四十五号

〔万葉集〕における「出づ」を含む複合動詞について―構成要素間の語彙的意味関係の分析を中心に―

山口 真紀

芥川龍之介「アグニの神」論

―(神)を超えた「運命の力」―

張 宜樺

ウィーン国立民族学博物館蔵「西行記」(秋・冬) 解題・翻刻

辻 英子

陽明文庫蔵「道書類」の紹介(一) 〔雲居月双紙〕翻刻・略解題

恋田 知子

講談社刊行、陸軍雑誌「若桜」
―解題及び内容総覧(総目次)―

五島 慶一

〔一寸法師〕奈良絵 解題・影印

石川 透

第四十六号

貴種をめぐる狩猟文芸史の展望

野谷 健

―「いろごのみ」論再考―

書道大師流における「甲斐守」

緑川 明憲

田郷虎雄「印度」とその後
―(懸賞作家)と(戦争)と(文壇)と―

和泉 司

陽明文庫蔵「道書類」の紹介(二) 〔恋塚物語〕翻刻・略解題

恋田 知子

〔梵天国〕奈良絵 解題・影印

石川 透

第四十七号

「頭ねぢぎッて」という表現をめぐって

—源為朝・巴・畠山重忠—

入木道守護神に関する一考察 附 近衛家熙
の入木道における信仰について

『改造』懸賞創作の行方—さまよえる（懸賞
作家）と翻弄されるテクスト—

「僕」と「社会」の交渉をめぐる力学

—中上健次「不満足」・「日本語について」・
「あなたを愛撫するユビ」論—

陽明文庫蔵「道書類」の紹介（三）『幻中草
抄』翻刻・略解題

バイエルン州立図書館蔵「源氏小かゝみ」解
題・翻刻

『松竹物語 下』解題・翻刻

第四十八号

神宮文庫蔵『南都巡礼記』（「類聚神祇本源」
紙背）翻刻と解題

陽明文庫蔵「道書類」の紹介（四）『宝物集』
翻刻・略解題

陽明文庫蔵「道書類」の紹介（四）『宝物集』
翻刻・略解題

須藤 敬

緑川 明憲

和泉 司

浅野 麗

恋田 知子

辻 英子

石川 透

大橋 直義

恋田 知子

バイエルン州立図書館蔵「源氏小かゝみ」（巻
二）解題・翻刻

表現・構造から考える「趣味の遺伝」——戦
争への想像力と慰問者・慰霊者としての語
り手「余」——

透谷を（想起）するということ——昭和二年、
『現代日本文学全集』刊行を巡って—

『雪女物語・下』翻刻

第四十九号

開始の「く出す」「始める」について

——小説作品における用例分析を通して前
接する動詞の傾向を探る——

連想を用いた漢字学習へ向けた漢字基礎調査
——「コミュニケーション日本語」所収漢
字の構成要素——

陽明文庫蔵「道書類」の紹介（五）『法然上
人念佛教化詞』翻刻・略解題

バイエルン州立図書館蔵「源氏小かゝみ」
（巻三）解題・翻刻

『浦島太郎』奈良絵 解題・影印

辻 英子

五島 慶一

黒田 俊太郎

石川 透

山口 真紀

池田 幸弘

恋田 知子

辻 英子

石川 透

第五十号

高浜虚子編『新歳時記』の三版種

戦時下日本浪漫派言説の横顔―中河與一の
（永遠思想）、変奏される（ヘリアリズム）

陽明文庫蔵「道書類」の紹介（六）『二十三
問答』翻刻・略解題

バイエルン州立図書館蔵『源氏小かゝみ』卷
四）解題・翻刻

『鶏鼠物語・下』翻刻

福井 咲久良

黒田 俊太郎

恋田 知子

辻 英子

石川 透